

# カリキュラム

コースコード：24-111

タイトル	組織的OJTの仕組みづくり【名古屋】		
サブタイトル	若手の育成を「現場まかせ」にしない		
研修のねらい	人材育成は事業の継続を左右する喫緊の課題であり、採用難の中、その重要性は増えています。一方で、人材育成の中核となるOJTが現場任せになっていることも多く、若手の育成に時間を割く余裕がない、若手社員が期待するように育たない等、悩みを抱える企業が多いことも事実です。この研修では、現場リーダーの疲弊を招かず効果的に人材を育成するために、組織的にOJTを推進できる仕組みづくりを学びます。		
研修の特徴	・OJTが標準化され、実効性の検証ができるようになります。 ・現場リーダーが前向きにOJTに取り組めるようになります。 ・自社のOJT改善プランを作成するので、すぐに改善にとりかかれます。		
対象者	経営者、経営幹部、総務人事の責任者 ・若手が育っていないと感じる方 ・人材育成の基本を学びたい方 ・OJTから人材育成制度に取り組んでみたい方	定員	24名
		研修期間/時間数	2024年6月5日（水）～6月6日（木）
			2日
		会場	名古屋国際センター 5階 第1会議室
受講料	22,000円		

## 科目構成

日付	時間	科目	内容	講師
6/5 (水)	9:50～10:00	開講式・オリエンテーション		株式会社エニードコンサルティング 代表取締役 荻須 清司
	10:00～12:00 13:00～14:00	労働者市場の動向と人材育成の重要性	労働者市場の動向と、人材育成が事業の継続性へ与える影響の重要性を学びます。 ・採用市場と企業廃業原因の動向 ・労働者市場の動向 ・企業廃業とOJTが効果的に行われない弊害 ・自社のOJTを振り返る	
	14:00～18:00	効果的なOJTを実現する仕組みづくり	OJTの制度や意義を会社全体で共有し、組織的にOJTを実施する仕組みを学びます。 ・OJTと全社教育体系 ・効果的なOJTを実現する3つのポイント ・組織的に複数の指導担当者を決める ・OJTは業務の棚卸から ・育成対象者と指導担当者への定期的フィードバック	
6/6 (木)	9:30～12:00 13:00～14:30	OJT担当者のスキルアップを支える仕組み	OJTを担当する現場リーダーのスキルアップの必要性とそれを支える仕組みを学びます。 ・若手社員とのコミュニケーション ・ティーチングとコーチングを使い分ける ・指導手順のマニュアル化とOJT計画表の作成	株式会社エニードコンサルティング 代表取締役 荻須 清司
	14:30～17:30	自社のOJTの改善点の検討	組織的OJTができるよう自社のOJTの改善点を検討し、改善プランを作成します。	
	17:30～17:40	閉講式		

講師氏名	略歴
荻須 清司 (おぎす きよし) 株式会社エニードコンサルティング 代表取締役	東証一部住宅設備機器メーカー、エクステリアメーカーなどで、営業、人事、法務、経営企画に従事。M&A、海外現地法人設立、店頭公開業務にも携わり、2005年より名古屋ワークスマネジメントオフィス代表。2013年に株式会社エニードコンサルティングを設立し、現職。名古屋商科大学大学院マネジメント研究科客員教授。資格は中小企業診断士、特定社会保険労務士、行政書士、キャリアコンサルタントほか。専門分野は経営改善（戦略構築、マーケティング、経営革新、創業支援）、人事組織構築（人材育成研修、評価・賃金制度）、会社設立支援等。